

# P10 Technical Specifications

## Inputs

2x MC current-sensing inputs, each available on both XLR and RCA connectors

2x MM/MC voltage-sensing inputs, each available on both XLR and RCA connectors

Unused inputs can be turned off

## MC current-sensing inputs

Input impedance: < 100mΩ, virtual ground

Gain: +45dB to +78dB in 3dB steps, @1kHz, 1Ω cartridge

Equivalent input noise (EIN): < -144dBu / 1Ω termination, 22kHz BW, any gain

## MM/MC voltage-sensing inputs

Input impedance: Variable from 100kΩ to 5Ω

Gain: +42dB to +75dB in 3dB steps, @1kHz

Equivalent input noise (EIN): < -142dBu / 1Ω termination, gain +53 to +74dB, 22kHz BW

Equivalent input noise (EIN): < -139dBu / 1Ω termination, gain +41 to +50dB, 22kHz BW

## Equalization

Playback EQ curve accuracy: +/- 0.1dB

Standard EQ Curve: RIAA

Optional EQ curves: EMI, Columbia (LP), Decca (London), DGG

(Teldec), NARTB (NAB), Capitol/AES and Philips

Ultrasonic: Neumann pole at 50kHz can be engaged with any EQ curve

Subsonic: Anti-rumble 2nd order high-pass filter at 7Hz can be engaged with any EQ curve

## Other features

Local or global feedback in amplification stages

Stereo/Monaural mode

Absolute phase polarity inversion

## Outputs

1x Balanced XLR (8V RMS max)

1x Single-ended RCA (4V RMS max)

1x Single-ended BNC (4V RMS max)

## Total Harmonic Distortion + Noise (1kHz signal, output level 3V RMS, 22kHz BW)

THD+N < 0.001%, MM/MC voltage input, gain < 50dB

THD: unmeasurable (below noise floor) for MM/MC voltage input, gain > 50dB

THD: unmeasurable (below noise floor) for MC current input, any gain

## Dimensions / Weight

P10 Power supply unit: 440 x 440 x 120 mm (W x D x H), 23kg

P10 Phono preamplifier unit: 440 x 440 x 120 mm (W x D x H), 20kg

## Price

¥13,000,000 (税別) ¥14,300,000 (税込)

【Option】EQ ボード

¥400,000 (税別) ¥440,000 (税込)



# P10

## Dual Monaural Twin-Chassis Phono-Stage



Imported by  
株式会社ゼファン  
〒173-0026 東京都板橋区中央町51-10  
03-5917-4500  
Info@zephyrn.com www.zephyrn.com  
2023.10 ZCHF004



# P10 Dual Monaural Twin-Chassis Phono-Stage

## デュアルモノラルツインシャーシフォノイコライザーアンプ

30年前にはほとんどだれも予想していませんでしたが、21世紀になった現在もレコードを聴く人は健在しており、レコードプレスはまだ行われています。多くのレコードを聴く人にとってレコードは単なる情報源以上の存在であり、録音された音楽の中でも特に優れた音源なのです。

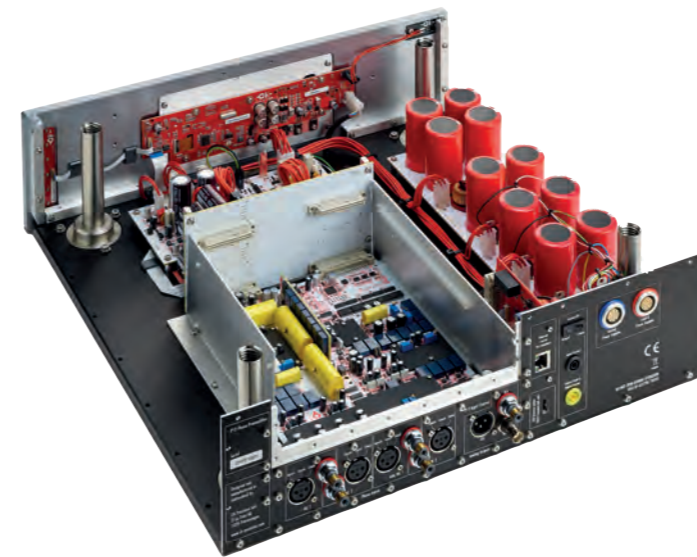
これは、アナログならではの音質や特性が要因とも言えますが、ハイレゾデジタル音源との競争がますます激化している中で、レコード再生は明らかに優位に立っているという事実を表しています。最近では最高の音を追求するレコードコレクターやリスナーが、レアなオリジナル版レコードを求めたり（多くのステレオ版ではなく）モノラルリリースがいいと、新品や中古レコードを世界中から購入しています。

同時に昔はシンプルだったレコード再生は高度に洗練され、レコードに合わせて最適に処理されることが可能になりました。レコードが唯一の高音質フォーマットだった時代には、想像もできなかったことです。

現在のレコードプレーヤーやトーンアームは以前のものよりも機能が進化し、幅広い調整が可能で、カートリッジやレコードからできる限りのパフォーマンスを引き出すように設計されています。しかし繊細なフォノ信号を守るためには、高精度の微調整ができる多機能で適用性の高いフォノステージが必要になります。CH Precision P10は、これらの需要を本格的に実現し、高い音楽的パフォーマンスと適応性を兼ね備えたフォノステージです。レコード溝から引き出されたすべての表現や情感のニュアンスを引き出すことが可能です。

個別に設定可能な4系統の入力とCH Control Appで調節できる重要なパラメーターを使い、P10は最大4台のターンテーブルやトーンアームに対応可能です。電流増幅入力と電圧増幅入力を装備しているため（電圧増幅入力にはシンプルで洗練されたセットアッププロトコルがあります）、P10はMC、MI、MMのカートリッジなど、どんなインターフェースでも最適化することができ、音楽パフォーマンスを最大限に実現します。オプションの切り替え可能なEQ機能を使えば、初期のオリジナルプレス版のコレクターは昔ながらの音でディスクを聴くことができます。

P10は生粋のアナログ・コンポーネントではありますが、スペックが物語っているように、すでに幽霊のように静かなP1より5dB低いノイズフロアに加えて、3dBステップ45～78dBの間で調整可能な入力ゲイン（これはP1より8dB多い）、4系統の独立したフォノ入力はXLR・RCAにそれぞれ対応し、8種類ものレコード再生EQカーブ（オプション）、ローカル/グローバル・フィードバックの選択、ステレオ/モノ切り替え、ハイパス・フィルターなど、高度なソフトウェアプログラムによって最もユーザーフレンドリーなフォノイコライザーアンプです。



また、MCとMMの異なるカートリッジ・タイプに適合する異なる入力ポロジータの選択など、接続性についても同じ選択肢を提供し、ほぼすべてのカートリッジからベストを引き出し、どんなシステムにもマッチさせることができます。

電源部のコンデンサ容量は0.5ファラッド以上。オーディオ回路部と合わせると合計1.0ファラッド以上という超大容量を誇り、アナログ部とコントロール部のパワーサプライは完全にガルバニック分離しており、ノイズ低減やグラウンドループに効果を発揮しています。ノイズ回避を徹底するために、電源部の筐体の中には、一切のマイクロコントローラーは設けていません。

L10とM10は、システム・マッチング、自然な音楽再生において新境地を開き、かつてないほど原音に近づけました。

P10は、これらと同じ利点を提供しますが、フォノイコライザーアンプである以上、システムの前段により近い位置でその利点を提供するため、その後のすべての段階でその利点を楽しむことができます。レコードがこれほど生命を感じさせるサウンドになったことはありません。オリジナルの演奏者やそのパフォーマンスにこれほど近づけたことはありません。オーディオファンがデジタル・ソースに頼っても大丈夫だと考え始めたまさにその時、P10はレコード再生をまったく新しい高みへと昇華させたのです。

